

News Letter

VOL.14

発行／2025年3月28日 (株)タハラ営業部 〒270-1369 千葉県印西市鹿黒南2-1 0476-21-1991



～部品注文担当が選ぶ～ おすすめ予備部品ランキング



熱電対

選考理由：故障すると警報が発報し、成形機が停止します。
特にリップヒータで使用しているリング式はダイス・コア交換時に破損することがあり、お問い合わせが多い部品です。



ホットカッタ絶縁アーム

選考理由：経年で劣化すると折れることがあり、ホットカッタが使用できなくなります。
ホットカッタの熱伝導が悪くなると絶縁アームに負荷がかかり破損につながります。
定期的なホットカッタアーム部の清掃と絶縁アームの目視確認をおすすめします。



マンドレル・マンドレルシャフト用シールパッキン

選考理由：ヘッドの分解清掃時には必ず交換する部品です。
※シールパッキンを使用していない成形機もございます。

4 リップヒータ

5 ソリッドステートリレー(SSR)

6 サーボアンプ

7 金型冷却水ホース(SP付)

8 バッテリー

9 取出アーム用フィンガー

10 製品口部・胴部ホルダー	11 ベンドストッパ 上下アーム
12 製品ホールドラバー	13 ブローピン
14 カッティングスリーブ	15 ポテンショメータ変換器
16 ベンドストッパ用 カムフォロア	17 ポテンショメータ用 長ケーブル
18 パワーサプライ	19 マグネットスイッチ
20 安全扉電磁ロック	21 樹脂圧力(温度)計
22 安全リレー	

調達にかかる時間や故障の頻度を考慮し、
おすすめ予備部品のランキングを作成しました。
弊社の電動成形機は多くが受注生産であり、年代や機種によって異なる部品
を使用しております。そのため部品在庫がなく受注生産となる場合があります、
部品によっては納品まで数週間から数ヶ月かかることもございます。
また、在庫がある場合でも注文が重なると欠品する場合もございます。
万が一に備え、お客様ご自身で予備部品をお持ちいただくことを
おすすめします。

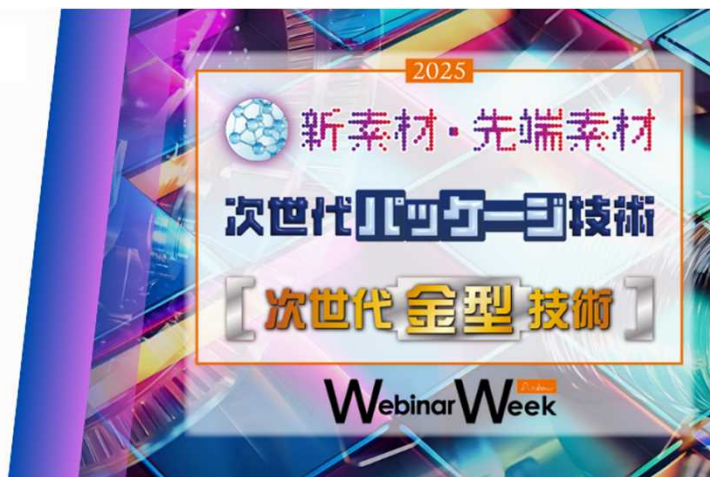
本記事に関する内容、お見積り依頼については、
弊社部品注文までお問合せください！

▶[お問合せフォームはこちら](#)

※本記事は、タハラ製電動機を対象にした内容となります。
油圧機、JEB機、中大型機については、本記事の対象外となります。

新素材・先端素材／
次世代金型技術／
次世代パッケージ技術
Webinar Week2025
登壇のお知らせ

3テーマ
連続開催



Webinar Week2025 に登壇しました

プラスチックボトルの付加価値を高める！ブロー成形の魅力

タハラは、2025年2月28日に「次世代パッケージ技術 Webinar Week 2025」に登壇いたしました。

「プラスチックボトルの付加価値を高める！ブロー成形の魅力」と題した20分間のウェビナーでは、リアルタイムで約150名のお客様にご視聴いただき、ブロー成形の技術や業界のトレンドを動画やアニメーションを交えてお伝えしました。

20分間のウェビナーを1分間にまとめた
ダイジェスト版を弊社YouTubeに掲載
しております。ぜひご覧ください。



▶ [クリックして視聴](#)

3月10日（月）より、ウェビナーの
アーカイブ配信が開始されました。
1年間ご視聴いただけます。



▶ [クリックしてサイトへ移動](#)

今回のニュースレターではウェビナーの一部をお伝えいたします。

多層ブロー成形機で実現する、環境志向のボトル成形

プラスチックボトルの最新トレンドの一つとして、環境に優しいボトルを紹介しています。

プラスチック業界全般と同様に、ブロー成形業界でも環境配慮の取り組みが進んでいます。

環境規制が日本よりも厳しいヨーロッパでは、近い将来、プラスチック容器に使用される原料の一部にPCR材（Post-Consumer Recycled Material）を使用する規制が、導入されることが検討されています。PCR材は、消費後の廃棄物から回収されたプラスチックを指し、洗浄で汚れを除去し、粉碎で破片を小さくすることで、再利用可能な素材へと転換します。

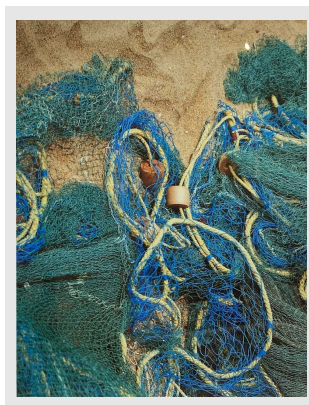
すでに海外の大手ブランドでは、PCR材を含む環境対応樹脂を容器の30%以上使用することを成形会社に求める動きが始まっています。このような環境配慮の取り組みは、ヨーロッパに留まらず、将来的には日本国内にも広がっていくことが予想されます。



海洋プラスチックを主原料とするボトル

弊社では以前、漁業で使用されていた網を再利用した、海洋プラスチックを主原料にしたボトルを成形したことがあり、大きな反響を呼びました。

写真はBJØRN THORSEN社の**海洋プラスチックごみをベースにしたHDPE樹脂**を使用したボトルです。これらのボトルは、今後の環境配慮が求められる社会に適した製品と言えます。



また、環境先進国として知られるドイツで開催された展示会「K2022」では、海洋プラスチックごみをベースにしたHDPE樹脂を使用したジェリー缶を弊社TJSがブロー成形し、来場者の注目を集めました。



炭酸カルシウム材やバイオ原料、PCR材の使用

押出ブロー成形で使用される環境対応樹脂として、炭酸カルシウム材やバイオ原料、PCR材（Post-Consumer Recycled Resin）などが挙げられます。これらの樹脂は**単体では成形しづらい**ですが、**多層成形において中間層に挟み込むことで安定して使用することができます。**

特にPCR材を使用する際の課題である**色味や匂い、外観への影響**は、多層成形により中間層に挟み込むことで防ぐことができます。

樹脂	HDPE	PCR材+粉碎材	HDPE+マスターバッチ
層	内層	中間層	外層
比率	10%	70%	20%



上記はエンジンオイルボトルの例です。内層にバージン材のみを使用することで、内容物とPCR材などが接触せず、品質を保つことができます。また、外層のみにマスターバッチを使用すれば、少ない量で色付けが可能となり、ボトル原料コストの削減も期待できます。

環境に優しいボトルの成形は、弊社へご相談ください

環境保護に配慮したボトル成形をお考えのお客様は、ぜひ弊社へご相談ください。
弊社のブロー成形機専門家が、多層ブロー成形機や回収材を使用した環境対応ボトルのご提案をいたします。



▶お問合せフォームはこちら

<https://www.tahara-mc.com/contact>